

今年の春は赤色に注目です!



正倉院模造宝物 漆彩絵花形皿 奈良女子大学蔵

平成25年度春季企画展 いにしえの赤色

2013年4月20日(土)～6月2日(日)

場所: 齋宮歴史博物館 特別展示室  
観覧料: 無料 ※常設展示の観覧には別途入館料が必要

いにしえの人びとによって  
赤色とは?

今も昔も赤色は人目をひく色です。たとえば、赤信号、赤色灯、レッドカードは、どれも注意を喚起するものとなっています。しかし、古代・中世の人びとにとって、赤色は今以上に特別な色だったので、それは、太陽や炎、血液など、自然や生命の根源に由来する色だからかもしれません。

また、赤色はその鮮やかな色彩から、装飾性も豊かです。古代、丹塗りの建築物、調度や服飾の赤の配色は、世の中で際立ち、大きな意味を持ちました。

企画展では、いにしえの人びとの赤色に対する意識、そして赤色の装飾性を、考古資料や美術資料からさぐります。

第31回 齋王まつり

「齋王まつり」は、齋王や齋宮に関わった人びとを偲び、始まりました。花菖蒲が咲き誇る6月最初の土曜・日曜の2日間、わたって、齋王市やアトラクションなどを開催します。また、1日目の夕方には前夜祭、2日目の午後には、齋宮が一番華やかだった平安時代の群行を再現した「齋王群行」が行われます。



日 時: 6月1日(土) 前夜祭 17時～21時(雨天中止)  
2日(日) 禊の儀、齋王群行 13時～15時(雨天中止)  
会 場: 齋宮歴史博物館周辺  
問合せ: 齋王まつり実行委員会 TEL 0596-52-0054

小学校6年生が描いた「将来の齋宮」

現在、平成26年度末の完成をめざして史跡公園を整備しています。一足先に完成した幅約15mの東西区画道路の脇に、イメージ絵画「将来の齋宮」の看板が設置されています。

この看板には、明和町立齋宮小学校平成23年度・24年度の卒業生と上御糸小学校平成24年度卒業生がイメージした齋宮の未来が色鮮やかに描かれています。



明和町立齋宮小学校平成23年度卒業生の作品

4/30火  
ゴールデンウィーク  
特別開館

祝日の翌日は休館日ですが、ゴールデンウィーク中の4月30日(火)は開館し、4月27日(土)から5月6日(月)まで休まず開館します。

6/1土  
夜間開館します!

6月1日(土)・2日(日)は、齋宮歴史博物館周辺で「第31回齋王まつり」が開催されます。「前夜祭」が開催される1日(土)は、開館時間を20時(入館は19時30分まで)まで延長します。

※常設展示の観覧には入館料が必要です。

※「齋王まつり前夜祭」中止の場合は、通常どおり17時(入館16時30分まで)となります。



齋王まつり前夜祭の様子

齋宮歴史博物館

多気郡明和町竹川503  
TEL:0596-52-3800(代)  
FAX:0596-52-3724  
MAP P10